

諏訪地方の 経済概況 速報

2020.06

2020年5月末調査／2020年6月30日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

諏訪地方の概況

5月は緊急事態宣言が段階的に解除された。解除以降も「新しい生活様式」に基づく行動が求められるものの6月19日には県をまたぐ移動も緩和された。

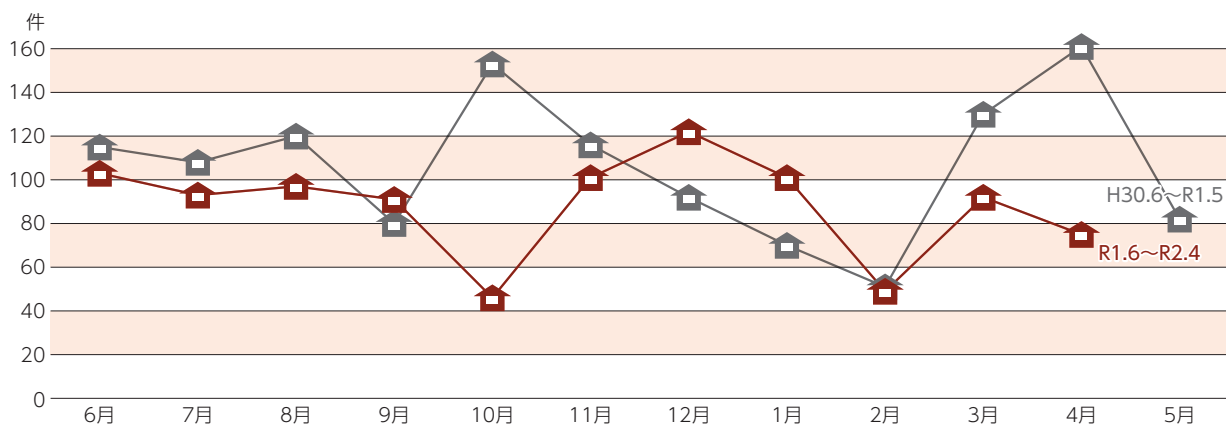
日本政府は5月の月例経済報告で「急速な悪化が続いており極めて、厳しい状況にある」との判断を示したが、6月の経済報告では、移動の緩和に伴い経済活動が活発化してきていることを念頭に「きわめて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある」として4、5月を底に内需は上向いているとの見方を示している。

諏訪地方は、外出自粛等から観光や商業では多くの先で休業や営業時間短縮を余儀なくされ大きな落ち込みとなった。製造業でも自動車関連を中心にメーカーの大幅な生産調整に伴う受注減少となった。今後の売上動向については全産業で回復までに相当の時間がかかるとして先行き懸念を示している企業が多い。

(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

		実数	前年同期比	
有効求人倍率【4月】(諏訪公共職業安定所管内)		1.22倍	△0.33ポイント	
手形交換高【5月】(諏訪手形交換所扱)	枚数	2,892枚	△2,273枚	
	金額	5,049百万円	△2,928百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	0枚
		金額	0千円	0千円
車庫証明取扱件数【5月】(諏訪地方合計)		724件	△30.6%	
新設住宅着工戸数【2020年4月】(諏訪管内)		75戸	△53.4%	

■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



製造業

「自動車関連を中心に受注が大幅に減少」

財務省発表の5月の貿易統計は、前年同月比で輸出は28.3%減と10年8ヵ月ぶりの下落率となり、輸入も26.2%減で10年7ヵ月ぶりの下げ幅となった。日本工作機械工業会発表の5月の受注総額(速報)は前年同期比47.2%の51,260百万円となった。また、経済産業省発表の製造工業の6月生産計画は、製造業11業種のうち8業種が前月比で上昇する計画となっているものの、不確実性が大きく今後も当面は低い水準が続くものと考えられている。諏訪地方では、医療機器や半導体関連は堅調に推移しているが、自動車関連は、コロナ禍で需要減少を受けた自動車メーカーの生産調整によって軒並み受注が大きく減少している。自動車関連の今後の受注については大半の企業がまったく読めないとしている。このような状況の中、大幅な減産を余儀なくされた多くの企業では工場の稼働日数を減らすなどの対応をとっている。

金属製品 プレス、メッキ、熱処理など	自動車部品関連は、全自動車メーカーが中国向け以外の輸出車の減産に踏み切り大幅な受注減少となっている。一部にはメーカーの生産計画が年内に8～9割にまで戻るとの予想もあるが、不透明感は強い。医療機器関連は堅調である。下落していた銅や真鍮などの原材料や燃料価格は上昇に転じている。
一般機械 工作機械、専用機械、省力化機械、検査機械など	省力化機械や自動機は海外向けの需要減少や国内設備投資計画の中止や延期から減速が続いている。工作機械は、業界全体の傾向と同様に受注が大きく減少している。専用機も同様の動きになっている。受注減少に対応するため多くの企業で雇用調整助成金を利用して休業日を1日増やすなどしている。また休業にあわせてコロナ収束後を見据えた多能工化のための教育訓練を実施している企業もある。一方、医療機器部品は引き続き受注が増加している。半導体製造装置関連も堅調に推移している。
電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など	半導体関連は、スマホや5G関連向けの受注が堅調に推移しており一部には増産要請もある。自動車向けはメーカーの大幅な減産の影響から、車載部品は低調である。プリンター関連もメーカーの生産調整から低調である。EV電池製品は堅調を維持しているが、海外取引先の操業停止もあり今後の受注は不透明感を強めている。プリント基板は低調が続いている。
輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車部品関連は、メーカーが大幅な減産計画に変更したことにより受注額は前年同期に比べ半減している。一部には受注回復の情報もあるものの不確定要素が強く、多くの企業で今後の受注が読めない状況が続いている。船外機は北米や欧州の需要低迷で大幅な減産が予定されている。航空機部品も同様である。邦人が現地に入れないなど海外工場での人の移動の制限が続いていることから受注への対応が難しい状況の企業もある。
精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	光学部品関連は生産調整によって受注が大幅に減少している企業が多い。しかし中には主要取引先が部品を海外製品から国産品に変更したことから増産を打診された先もある。医療機器関連は堅調な受注が続いている。半導体製造装置関連の受注も堅調に推移している。計量器関連では輸出向け企業からの受注がほぼストップして、受注先の状況に危機感を強めている企業もある。
製造業（その他）	中国以外の海外工場で生産停止が続いている企業が多く、北米、中南米、欧州向けの輸出が低調なことから先行きに大きな懸念を持つ先が多い。みそは家庭向けの需要が伸びている。漬物も内食の需要が高まり、スーパーの売上増加に伴う特需が続いている。印刷・情報用紙は、旅行やイベントの中止と自粛が相次ぎ、パンフレットやチラシ需要が大幅に落ち込んでいる。

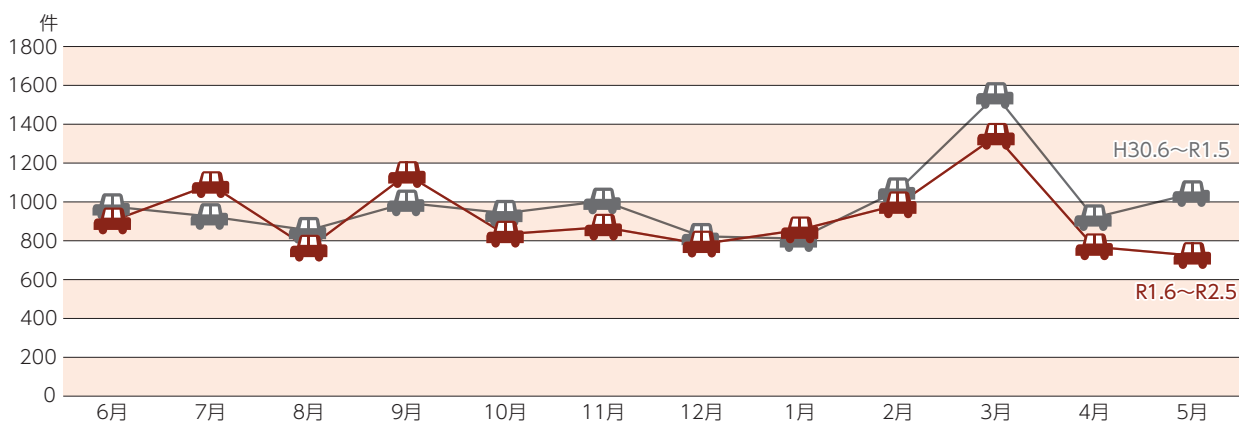
商 業

「外出自粛解除後の集客に期待」

長野県の外出自粛要請は5月16日に解除となったものの、飲食業をはじめ多くの商業分野での来店客の回復には時間がかかっている。大きく売上げが減少した店舗が多い中、スーパーなどでは外出の頻度が減った消費者が、通常より日用品や食料品を多めに買う特需が続いている。飲食業では来店客の減少を補うためテイクアウトに軸足を移し、一定の売上げ確保に努力している。諏訪地方の6市町村では売上げ減少を余儀なくされている地元飲食店等に対し、プレミアム付のチケットを販売するなど売上げ回復のための支援を行っている。マスクの不足状態はほぼ解消されているが、消毒液等新型コロナ感染対策用品の品薄状態は依然続いている。

大型店	食糧品の売れ行きは、引き続き堅調、一時不足となった小麦、パスタの品薄状態は解消した。一方、米類は鈍くなってきている。衣料品は不調が続いている。
食料品	一時の買い占め現象も収まり、値上がりした白菜やキャベツなどの生鮮野菜の流通量、価格も安定してきた。しばらくは堅調な動きとなると予想している。
家電	パソコンの需要に加え、感染防止用の加湿器、空気洗浄機の需要が高まって品薄状態が続いている。
自動車	諏訪地方の5月の車庫証明件数は724件で、前年同月比で30.6%減少した。2020年度の累計(4~5月)は1,493件で、前年同期比23.9%減少した。
飲食店	企業の宴会は回復していない。売り上げの多くは、ランチとテイクアウトだが、傷みやよくなる夏期のテイクアウトに十分な注意を払っている。
生花店	イベント中止に対しネット販売を強化している。また、輸入の花卉が不安定で国内調達に切り替えを検討している。
燃料販売	県外からの車がほとんどなくガソリンの販売量も低下した。
靴店	外出自粛要請が解除となり、高齢者客を中心に来店が増えてきているが、売り上げ回復にはかなりの時間がかかると予想している。
イベントホール	5月まで宴会、イベントがすべてキャンセルになったが、7月以降の少人数での予約が入り始めた。大人数での企業や団体での予約はなく依然厳しい。
野菜直売所	外出自粛要請の解除以降、店頭で地元客以外と思われる来店が増加してきている。

■車庫証明件数の推移



観光・サービス業

「回復にはかなりの時間が必要、ふっこう割に期待」

新型コロナウイルスの影響が最も大きい。「長野県民向け長野県ふっこう割」の影響もありお盆前後の宿泊予約も入り始めている。政府による「Go to キャンペーン」にも期待を寄せているが、感染再拡大によるキャンセルの懸念もぬぐえない。観光客の旅館選択の基準は感染防止対策状況が最優先で食事や部屋はその次になっており十分な対応が求められている。

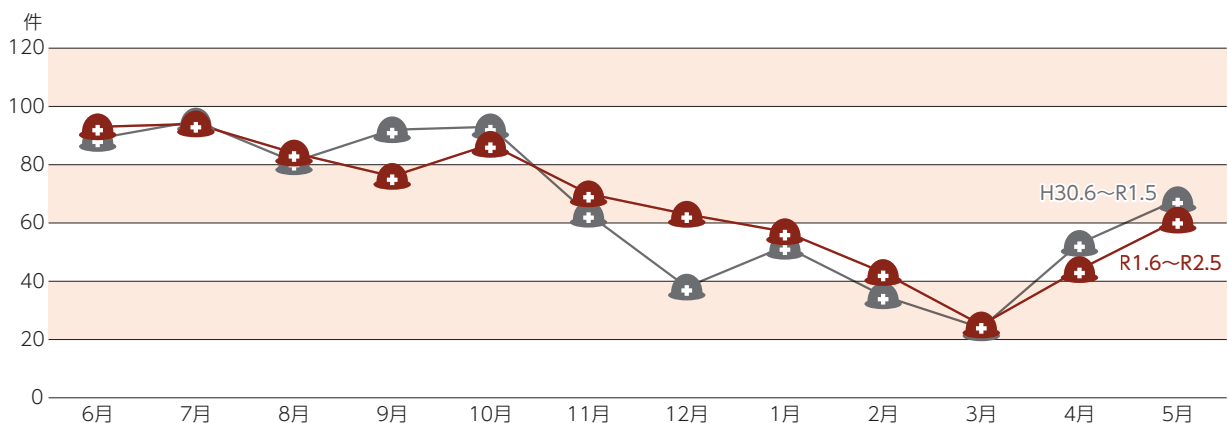
上諏訪温泉	5月の宿泊者数は例年の9割以上減少した。夏の予約は例年の3割程度入っている。ふっこう割での予約も出てくると思うが、諏訪湖花火大会、新作花火大会も中止となり回復までには相当の時間がかかる。
下諏訪温泉	多くの旅館で5月下旬より営業を再開しているが、宿泊客は少ない。団体客の取り込みは当面難しく、売上回復には時間を要するとみられる。
蓼科・白樺湖・車山・富士見等	温泉組合加盟施設の大多数は5月末迄休館、中小規模ペンションや飲食店は5月中旬より営業再開している。飲食店のテイクアウト需要はあるものの梅雨期での食中毒対策を強化している。
諏訪大社	上社・下社合わせた5月の参拝者数は約3万5千人。前年同月比では約6万4千人、64.6%減少した。

建設業 「工事案件の先行きに不安」

5月の市町村からの受注工事は合計61件、1,160百万円となった。前年同月に比べ件数は7件減少したが、契約金額は279百万円増加した。2020年4月～5月の累計は件数、契約金額とも減少した。民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数が75戸で、前年同月比86戸減少(△53.4%)した。現状では手持ち案件があるものの、今後計画されている製造業の設備投資延期による工事減少を懸念している。

公共工事	5月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、国関係1件、公社関係1件の2件で、契約金額は187百万円だった。2020年4月～5月の累計は5件、385百万円で、前年同期比で件数は4件、契約金額は207百万円減少(△35.0%)した。市町村からの5月の受注工事は、建築工事9件288百万円、土木工事および下水道工事22件286百万円、その他工事30件587百万円となった。
民間工事	諏訪地方の前年同月と比べた4月の新設住宅着工戸数は、利用関係別で「持家」は10戸減少の57戸、「貸家」は10戸減少の6戸、「分譲」は71戸減少の7戸、「給与」は5戸増加の5戸だった。長野県内の4月の新設住宅着工戸数は962戸で、前年同月比26.2%減少した。前年同月と比べると、持家は7ヵ月連続の減少、分譲は2ヵ月連続の減少となった。

■公共工事の推移(市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く)



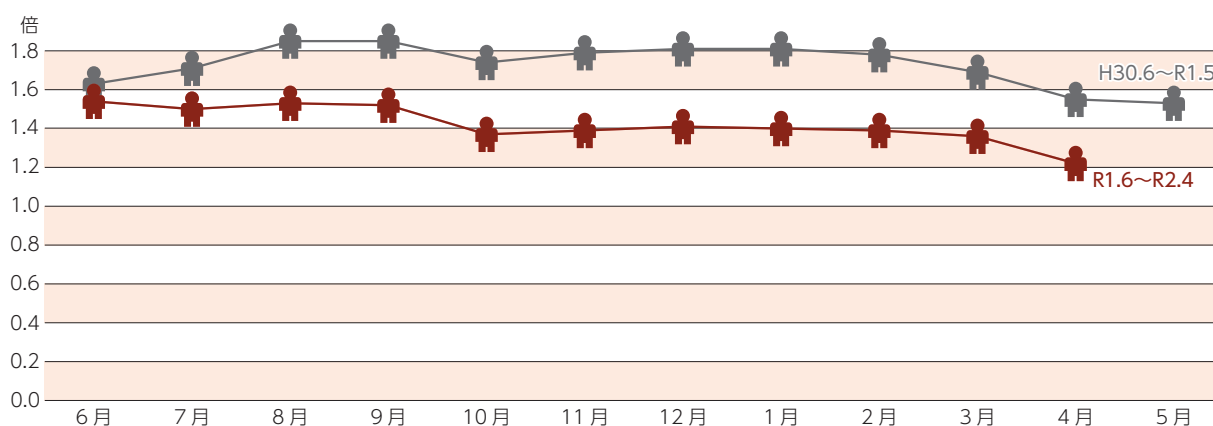
雇用

「有効求人倍率13ヵ月連続減少」

諏訪地方の4月の有効求人倍率は、前年同月を0.33ポイント下回り、前月を0.14ポイント下回る1.22倍となった。1倍以上は73ヵ月連続しているが、13ヵ月連続で前年同月を下回っている。長野県平均は、前月を0.10ポイント下回る1.29倍で、16ヵ月連続で前年同月を下回った。全国平均も前月を0.07ポイント下回る1.32倍だった。

諏訪地方の新規求人数(全数)は1,197人で、前年同月比467人減少(△28.1%)した。求人の要因別は「継続する人員不足」(65.5%)「業務量増大」(18.7%)「欠員補充」(15.4%)「創業・新分野展開」(0.4%)の順。業種別前年同月比の新規求人数は「運輸業」(48.1%)で増加したが、それ以外では「飲食店・宿泊業」(△81.8%)をはじめとするすべての業種で減少した。新規求職者数は809人で、前年同月比48人減少(△5.6%)した。1件10人以上の人員整理は0件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は63人で前年同月より15人増加し、前月より17人増加した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 今後観光業の形態が大きく変化していく可能性があり、変化に対応したサービスや設備の整備が迫られる(観光業)。
- 新型コロナの影響で製造業が不調になると消費が減退するので心配している(大型店)。
- 感染防止のため、秋までにセルフレジ導入を検討している(小売店)。
- 新型コロナだけでなく米中摩擦の再燃、米大統領選などの状況で輸出が影響を受け、受注状況が大きく左右されるので注視している(一般機械製造業、金属製品加工業)。
- 手持ち受注は流れているが半年から1年先の新規案件の動きは鈍い(建設業)。

《地域の新型コロナ支援策》

- 岡谷市 新型コロナに負けるな“おいしい岡谷”1店1品(逸品)テイクアウトプロジェクト
- 諏訪市 プレミアム観光振興券(土産品店、飲食店、タクシー、ガソリンスタンド、観光施設など)
- 茅野市 ちの飲食店応援チケット「Yell Yell Yell」、観光事業者等経営支援給付金
- 下諏訪町 プレミアム付き商品券、下諏訪町テイクアウト応援キャンペーン
- 富士見町 町民応援振興券
- 原村 がんばろう!原村応援商品券(花卉作農家、飲食店、宿泊施設、観光施設)

新型コロナウイルス感染症で 影響を受けている事業者の皆様へのお知らせ

1 実質無利子・無担保融資の限度額が 引き上げられました

長野県新型コロナウイルス感染症対応資金のご融資限度額が
3,000万円から**4,000万円**へ引き上げられました。


2 充実したサポート体制で諏訪地域の 皆様をご支援します

お困りごとがございましたら、ぜひ私たち諏訪信用金庫に
ご相談ください。

ご相談内容例

ご融資	<input checked="" type="checkbox"/> 資金繰り安定のため、融資を受けたい
給付金 助成金 補助金	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を継続するため、給付金を活用したい
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を一時休業（自粛）したので、従業員に休業手当等を支払いたい
	<input checked="" type="checkbox"/> 他の事業者と共同して新しい事業に取り組みたい
	<input checked="" type="checkbox"/> 新製品・サービス開発等に向けて設備投資をしたい
	<input checked="" type="checkbox"/> 販路開拓したい
	<input checked="" type="checkbox"/> ITツールを導入（テレワーク等）したい
マッチング	<input checked="" type="checkbox"/> サプライチェーンの混乱により部品等の調達ができない
	<input checked="" type="checkbox"/> 過剰な在庫を抱えている

ご相談窓口

平日	諏訪信用金庫の全営業店 窓口相談 午前9時～午後3時 / 電話相談 午前9時～午後5時 (本店フリーダイヤル 0120-608-168) *各営業店の電話番号は 当金庫ホームページをご参照ください	
休日	しんきん住宅ローンセンター 窓口相談 午前10時～午後5時 / 電話相談 午前10時～午後5時 (フリーダイヤル 0120-608-188)	

*ご相談は当金庫が定める営業エリア内の方に限ります。内容によっては、ご希望に添えない場合もございます。
 *ご相談の内容によっては専門部署から直接お問い合わせをさせていただく場合がございます。
 *ご相談は無料ですが、内容によっては一部有料となる場合がございます。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>